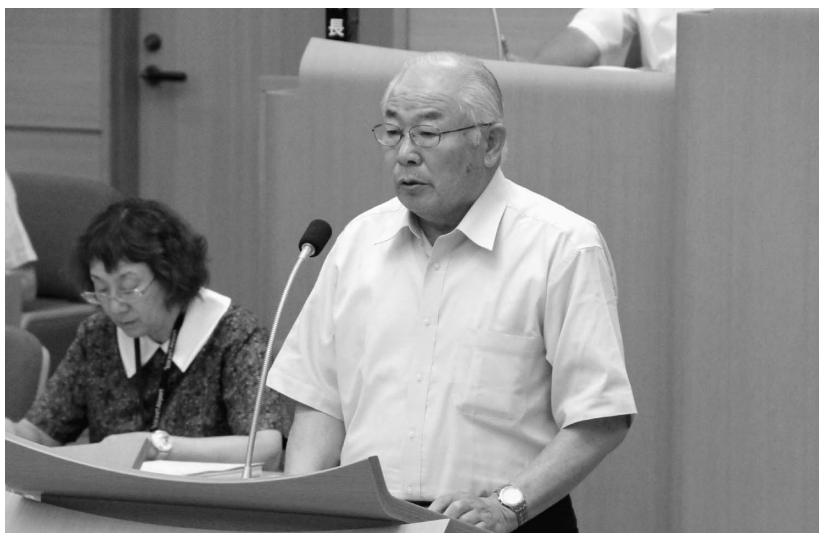


2013・9・5 開会

第3回町議会定例会



平成二十五年第三回町議会定例会が、九月五日に開かれ、十三日に閉会しました。

この定例町議会では、条例の一部改正や一般会計補正予算、各会計決算認定など、議案九件、認定八件、同意一件、承認一件、報告一件、発議一件について審議しました。

おもな内容については、次のとおりです。

◆教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、教育委員会委員に小野雄二氏の再任が同意されました。

◆高齢者生活福祉センターの運営に関する条例の一部を改正する条例

高齢者生活福祉センターの改修および増築に伴い、利用定員を変更するため、条例の一部が改正されました。

◆北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について

住民基本台帳法の一部改正に伴い、外国人登録制度が廃止され、規約中の外国人登録原票を削除したものです。

◆町過疎地域自立促進市町村計画の変更について

地上デジタル放送の難視対策事業が、財源に後年度交付税措置のある過疎債申請のため、本計画変更について北海道との協議が整ったことから、計画に該当する事業を追加したものです。

◆小型ロータリー除雪車購入契約の締結について

小型ロータリー除雪車購入

は、一千二百八十六万二千五百円で、北海道重建機株式会社函館支店と契約することが承認されました。

◆一般会計補正予算

(第六号)

歳入歳出それぞれ七億一千二百二十九万四千円が追加され、予算総額四十六億四千三百六十三万一千円となりました。

補正のおもなものは、歳入が地方交付税、国庫支出金、道支出金の追加など。歳出が地上デジタル難視対策共聴設備施設工事、アイヌ農林漁業対策事業補助などの追加です。

◆国民健康保険特別会計補正予算

(第二号)

歳入歳出それぞれ四百八十万九千円が追加され、予算総額十億三千三百二十九万九千円となりました。

◆介護保険特別会計補正予算

(第一号)

歳入歳出それぞれ三千五百三万六千円が追加され、予算総額七億一千七百四十九万二千円となりました。

◆ガス事業会計補正予算

(第一号)

資本的収入を三十万円減額し、資本的収入の予算総額三千二百七十万円となりました。

また、資本的支出は、十万円減額し、予算総額四千四百八十八万六千円となりました。

◆病院事業会計補正予算

(第一号)

収益的収入に百万円が追加され、収益的収入の予算総額六億七千七百七十七万六千円となりました。

◆意見書(可決)

◎森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書



白井町長の 行政報告

=平成25年9月5日=

第三回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

災害対策

八月九日未明からの豪雨による被害状況は、住家の床上浸水三件、床下浸水が十件、非住家の浸水が七件あり、直ちに対象世帯のトイレ汲み取り、住宅周辺の消毒作業を実施いたしました。

なお、これらの災害では、幸い人身に関する被害はありませんでした。

財政関係

本年度の普通交付税の交付額は、七月二十三日に決定されました。

普通交付税の算定結果は、基準財政需要額二十九億四千十六万七千円から基準財政収入額五億五千七十八万二千円、調整額百九十四万五千円を控除した二十三億八千七百四十四万円が交付額となり、前年度と比較し、〇・七パーセント、一千六百六十四万円の減額となりました。

また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成二十五年度に公表する健全化判断比率及び資金不足比率の報告を予定いたしております。

北海道新幹線関係

北海道新幹線新函館（仮称）・札幌間の建設工事は、現在、鉄道・運輸機構による中心線測量が、年内の完了を目指して実施されておりますが、今後は、必要な用地幅の検討を行い、工事の大部分を占める

トンネル掘削工事に伴う約二百六十五万立方メートルもの発生土の受入先の選定を開始する予定となっております。

なお、鉄道・運輸機構から発生土の受入先の紹介依頼を受けており、町では、町広報及びホームページにより九月二日から十月三十一日まで、受入希望者を募集しております。

また、今年度は、住民のみなさんと一体となった取り組みとして、「新幹線まちづくりワークショップ」を開催しております。

参加者は、公募により三十



七名となり、七月三日に事前説明会、七月十日に第一回目のワークショップを開催し、多くのまちづくりに関するアイデアなどが発表されております。

今後、今月下旬と十一月に、それぞれ一回ずつ開催予定であり、さらにまちづくりの議論を深めてまいります。

企業誘致関係

北海道イーグル株式会社の新工場建設は、本年三月の着工以来、順調に工事が進み、九月二日には無事竣工を迎え、既に稼働しております。

次に、新幹線関連のトンネル支保工や高架橋の基礎杭に使用する鉄筋力ゴなどを製作する株式会社オールシーサンコーが、旧苗畑の町道南部陣屋線沿いの海側の町有地に立地を希望しており、立地面積が一万八千四百八平方メートルと確定いたしましたので、協力関係にある本사를帯広に置く鉄筋や鋼材などを扱う株式会社鉄建を借り主として、八月一日付けで、町有財産賃貸借契約を締結いたしました。

ました。

なお、株式会社オールシーサンコーは、株式会社鉄建から建物を借りて鉄筋力ゴ等を製造する予定で調整しております。

今後、工場の実施設計などが確定次第、開発行爲許可申請等の手続きを経て着工し、平成二十六年春の稼働を目指しております。

また、旧双葉小学校校舎を活用しマスク製造工場として、本年九月稼働を目指しております。まず一般社団法人長万部双葉の森は、現在、工場としての機能整備を進めております。

企業の立地は、雇用の促進や地域の活性化に資するものであり、町としても可能な限り、支援協力をしてまいります。



地上デジタル放送 難視対策事業関係

テレビ放送が地上デジタル放送へ切り替わったことにより、テレビ画像が映らなくなる「新たな難視地区」として指定された蔵岱・知来・双葉・富野の一部の四地区約八十世帯について、国ではこの難視対策として、国庫補助による支援を実施し、この地区の難視解消を図ることとなりました。

本事業は、町が事業主体となり、加入者確定作業や実態調査に基づく詳細設計などを経て、国へ要望書を提出し、事業採択の内示を受けましたので、本定例会に補正予算を提案いたしております。

長万部町開礎百四十年・ 町制施行七十年記念事業関係

本記念事業では、オリジナル記念品として発注しております「長万部町開礎百四十年・町制施行七十年記念オリジナルクリアファイル」が八月二日に納品されております。記念パンフレットとしての長万部町開礎百四十年・町制施

行七十年記念要覧は、九月三十日に完成予定で発注済であります。

そのほか、記念協賛事業として、八月三十一日には元プロ野球選手を招き、小学生を対象とした「NHK少年野球教室」が開催され、近隣自治体も含め少年野球チーム九チーム、選手六十七名が参加し、熱心に指導を受けておりました。

また、十一月二日には、総合文化祭会場にて、記念式典の開催を予定いたしております。

移動町長室

私が町長に就任してから七年が経過し、平成二十三年度には「第三次長万部町まちづくり総合計画」を策定し、「みんなでつくろう「おしゃまんべ」く輝くふれあいの郷土、協働・教育のまち」をキャッチフレーズに、新幹線を核としたまちづくりをスタートいたしました。

まちづくりを進めるうえで、町民のみなさんから身近な地域の問題も含め、広くご

意見・ご要望等を直接お聞きし、町政運営に反映させていくことが大切でありますので、十月七日から十日までの四日間、各地域で「移動町長室」を開催し、町民のみなさんの生の声を聞く機会を設けてまいります。

高齢者生活 福祉センター

先に、長万部長愛会に譲渡した福祉会館は、高齢者生活福祉センターとして運営するため、長万部長愛会が改修工事を進めております。

この改修により、高齢者生活福祉センター入居定員は十一人増えて二十四人となり、十一月中の入居を目指して準備中であります。

この増設に伴い、入居定員を変更する条例の一部改正及び委託料の追加に伴う補正予算を本定例会に提案いたしております。

農業関係

家畜の主たる飼料作物の牧草は、八月十五日現在の生育状況調査では、平年並みとなっております。また、サイレージ用とうもろこしも生育は、概ね平年並みに推移しております。

生乳生産量は一月から七月末日まで約六千三百六十四トンを出荷し、前年に比べ五十四トンの減、乳代は、約五億八百万円で前年に比べ一千八百万円の増となっております。黒毛和牛の一月から七月ま



漁業関係

での販売頭数は百五十八頭、販売金額は約七千五百一十万円となっております。前年同期と比較して販売頭数は十二頭の減となりましたが、市場価格の高騰により、販売金額では約二百七十八万円の増となっております。

漁業関係の一月から七月末までの水揚げ実績は、約二十五億円と前年同期と比較し、約五億円ほど増加しております。

一方、ホタテ貝の生産量は、一万二千二百二十七トンで前年同期と比較し、約七百六十一トン減少しておりますが、水揚げ実績では、約五億五千万円の増となっております。

ホタテ貝養殖漁業における地場採苗の状況は、六月から投入した採苗機に昨年同様、多くのホタテ貝種苗が付着しているのが確認されております。しかし、付着したばかりの種苗は、もっとも弱い時期でもあり、慎重な取り扱いが必要となりますので、函館水産試験場等関係機関と生育動

向を注視してまいります。

北海道が事業主体となり、水産物供給基盤機能保全事業で行う老朽化した静狩漁港旧中央埠頭等の機能保全工事が追加決定されました。

また、アイヌ農林漁業対策事業では、実施主体の長万部漁業協同組合と北海道との協議が整い、ホタテ自動耳吊り機の整備が承認され、補助金内示を受けましたので、両事業費等の追加に伴う補正予算を本定例会に提案いたしております。

マツカワの資源増大は、当初四万尾の放流を計画しておりましたが、稚魚を生産している北海道栽培漁業センターで、ウイルス感染症が発生したことにより二万六千尾を九月末までに放流する予定であります。

近年、噴火湾海域で大量発生しているザラボヤ等の附着物は、今年も七月頃から長万部町海域でホタテ貝養殖桁へ附着しているのが確認されておりますが、附着時期及び付着量も例年並みのことであると見られます。

林業関係

町有林一般造林事業の下刈事業の豊津地区四・〇ヘクタール及び共立地区五・〇ヘクタールは、八月九日に完了しております。

共立地区百二十六・六二メートルの作業路新設事業は、八月三十日に完成しております。また、森林農地整備センター分収造林事業の下刈事業は、豊津地区三十・五二ヘクタールを、八月三十日に完了しております。

森林整備加速化・林業再生事業の対象事業として進めている多目的活動センター（仮称）は、現在、建設検討協議会を設置し、基本設計の協議を進めております。

また、道営事業で進めている森林基幹道豊津・黒岩線の林道整備事業は、六月二十八日に着手しております。



商工観光労政関係

本町の観光振興の一環として実施されております「おしゃまんべ毛がにまつり」は、天候にも恵まれ、町内はもとより、町外からのバスツアーなどの来場者も多く、大盛況となり、特に、毛がにの販売や「かにめしサミット」での数量限定販売、さらに会場内の大鍋でゆであげた浜ゆで毛がにを買い求めようとするお客様で長蛇の列ができておりました。

販売用の毛がにには、昨年から関係機関と検討を重ね、毛がに格安販売を日曜日のみとすることで、十分な数量を確保することができました。

緊急雇用創出推進事業を活用した長万部町観光物販促進事業により、長万部駅舎内に設置した観光案内所では、長万部町を訪れる多くの観光客のみならず、町内観光地の情報提供、長万部・二股両温泉の案内、飲食店や商店の紹介等、積極的な観光アピールを行うとともに特産品の販売を行っております。

また、九月二十日から二十



四日までの五日間、札幌市大通公園会場で開催される「さっぽろオータムフェスト二〇一三」では、本町の特産品のプレゼンテーションを行い、販路拡大に向けた事業を実施する予定となっております。

合宿誘致事業は、長万部温泉利用協同組合が積極的に誘致活動に取り組み、夏休み期間を中心に、中学・高校・大学の約九十の団体が、剣道・柔道・バスケットボール・弓道など多種目にわたり合宿を行い、延べ三千人以上の方が宿泊されました。

建設事業

建築事業では、町営住宅あやめ団地外壁改修工事は六月十九日に完成し、富野振興会館外壁等修繕工事は、九月十日までの工期で施工中であります。その他、町営住宅等の修繕工事は、計画的に実施しております。

次に、土木事業では、町道南十二号線の道路改良舗装工事は、十月三十日までの工期で施工中であります。

道路維持関係では、小型ロータリー除雪車購入の入札を八月一日に行いましたが、地方自治法第九十六条の規定により議決が必要となりますので、本定例会に関係議案を提案いたしております。

その他、町道補修工事等を計画的に実施しております。

公共下水道事業

下水道水洗化率は、七月末現在、供用開始区域内人口四千四百四十八人のうち、水洗化人口二千九百九十七人で、七十二・三パーセントの水洗化

率となっており、今後も快適な生活環境づくりに向け、水洗化の普及促進に努めてまいります。

ガス事業

ガス本支管改良工事の住吉線工区は、八月三十日に完了しております。

また、ガス本支管改良工事の役場通線工区及び南三号線工区は、十一月十五日の工期で施工中であります。

なお、ガス本支管改良工事の経年管対策事業は、事業費の二十五パーセントを一般会計から出資を行い、当該経費は、特別交付税措置のある一般会計出資債を起こすことが可能となりましたので、本定例会に補正予算を提案いたしております。

消防関係

現在、消防本部には、高規格救急自動車二台を配備しておりますが、そのうち一台は導入から十四年が経過し、車両本体の老朽化が進んでいる



格救急車仕様へ機装・改造するため、本定例会に補正予算を提案いたしております。

また、八月三日、消防団や社会を明るくする運動実行委員会の協力のもと、町民への防火意識の高揚と応急処置等の普及を図るため、消防本部前で、体験型のイベント「おしゃまんべ消防フェス二〇一三」を開催したところ、約二百名の方々が参加されました。今後も、防火や救急講習会等の催しを実施し、広く町民に防火と救急への意識の高揚を図ってまいります。

ため、北海道を介し寄贈救急自動車の要望を行ったところ、全国共済農業協同組合連合会北海道本部より、救急自動車一台の寄贈が決定され、九月下旬の納車予定となっております。

寄贈される救急自動車は、トヨタ社製の標準型で、電子サイレンや大型散光警光灯等を装備し、約五百三十万円相当の車両であります。

この寄贈救急自動車に高度救命資機材等を積載する収納庫や、搬送に対し傷病者の負担を軽減する防振ベッド等を追加装備し、標準型から高規



入札結果 (9月6日入札分)

事業名称	契約業者	契約金額 (税込・円)	予定価格 (税込・円)	落札率 (%)	参加 業者数	工期 (納期)
町道国縫海岸線排水管整備工事	株式会社 城北工業店 長 万部	2,436,000	2,562,000	95.08%	7社	25年11月11日
共成2号橋外修繕工事	株式会社 藤田組	8,715,000	9,019,500	96.62%	7社	25年12月27日
長万部町有林一般造林事業(作業道新設)	有限会社 緑土産業	9,450,000	9,823,800	96.19%	3社	25年11月15日

(有料広告)



社団法人全日本不動産協会員 北海道知事免許【渡(1)第1136号】

株式会社 佐々木建業

長万部町字平里99-25
TEL 01377-2-4555 FAX 01377-2-5869

●土地 ●建物 ●売買 ●賃借 ●仲介代理 ●一般建築 ●屋根板金

売りたい方、買いたい方、
不動産のことならお任せください！